

抗原検査キットを使用する前に

発熱、鼻水、のどの痛み、咳などの風邪のような症状が出た際、

新型コロナウイルスへの**感染の可能性**があります。

この抗原検査キットは、**皆様に症状が出たときに、**

すぐにご自身で検査ができるようお配りするものです。

キットを使用するときは、**必ず裏面の使用方法をご確認**ください。

(このキットでの検査は、症状があるときにお使いください。**無症状の方は、使用できません!**)

このキットを**使用した際は**、必ず右の**二次元コード**から、

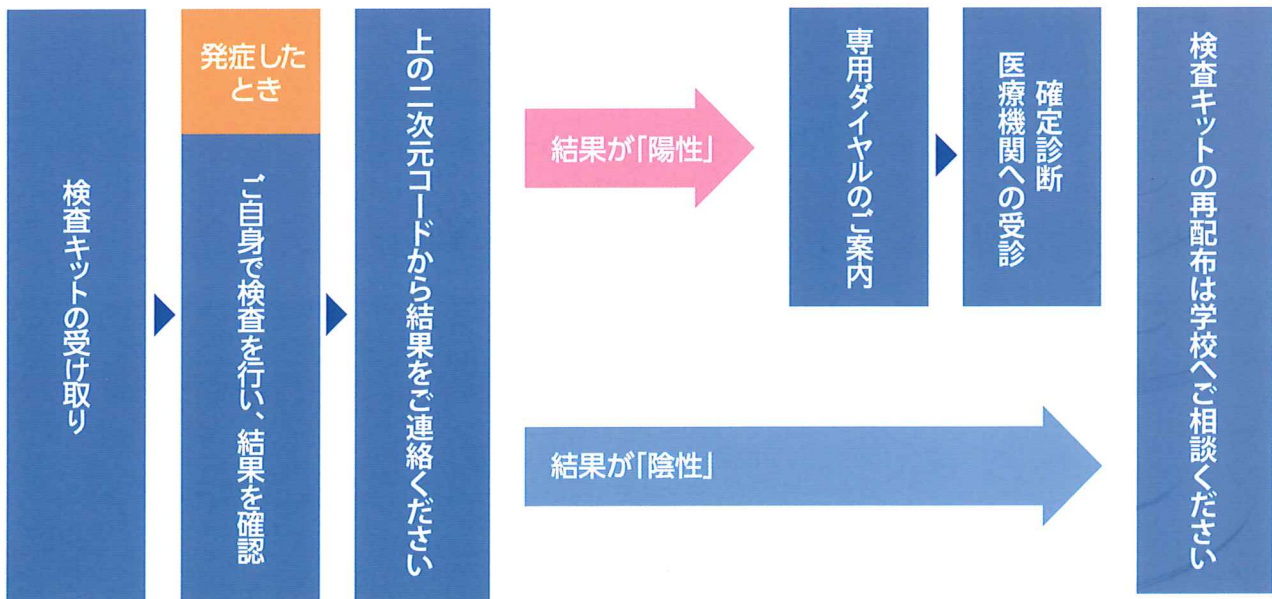
陽性か陰性かの判定**結果をご連絡**ください。

結果に応じた対応をお知らせします。



※LINE登録できない方は別途送付したメールから、使用後の対応を確認願います。

LINEに登録している場合



【抗原検査キットの注意事項】

①幼児の手の届かない室内で保管(冷蔵の必要はありません)、②火気の近くでの保管・操作は厳禁、③キットやチューブの溶液は、皮膚への付着・目や口へ入らないよう注意し、万一の際は多量の水で十分洗い流し、必要に応じて医師の手当てを受けること。

(問合せ先) 抗原検査問合せフォーム

裏面もご覧ください



抗原検査キットの使用法（フロー）

富士レビオ(株)エスプライン™SARS-CoV-2



0. 準備

二次元コードから、動画をご覧ください。

このキットでの検査は、症状が出た際に行います。**（無症状の方は、使用できません）**

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/coronaline/howto-kougenkensa_school.html



1. 検体のとり方

① 綿棒を鼻の入り口から2cm程度、粘膜部分をめぐうようにしてゆっくり挿入します。

② 綿棒を**5回**程度ゆっくり回転させます。

③ **5秒**たち、綿棒が十分湿った後、そっと引き抜きます。

（幼児等、鼻が小さくて綿棒が2cm入らない場合は、入るところまでで結構です）



2. 検体の抽出

チューブのふたをはがし、綿棒の綿球部分をチューブ内の検体処理液に浸します。

チューブの上から、綿球部分を**はさみ押さえながら10回程度回転させ、綿球部分を絞る**ように綿棒を取り出します。**（検体のねばりを溶かしてください）**



3. キャップをはめる

チューブにキャップをはめ込み、横にして、**5分**おきます。



4. 2滴 たらす

キャップを付けたままチューブを逆さにし、チューブを軽く押し、

液をキットの紫色の検体滴下部に**2滴**たらしめます。

（キットとキャップの先端を1cm以上離してください）



5. 押す

水平な場所で、すみやかにキットのオレンジ色のボタンを押し、タイマーを使うなどして、

30分間待ちます。判定部に直接風が当たらないようにしてください。

キット

判定部
検体滴下部
ボタン

陰性	陽性
ラインのみ出現	ラインとTライン出現
判定不能	
①Tラインのみ出現	②反応前の状態 ラインピンクのまま

6. 反応時間・判定

30分後に判定を行います。時間が長すぎても短すぎても正しい結果になりません。

※「陽性」の場合は線が2本出現します。

※「判定不能」の場合はもう一度検査してください。

7. 二次元コードから連絡

二次元コードから、判定結果をご連絡ください。

結果に応じたその後の対応をご案内します。

※LINE登録できない方は別途送付したメールから、使用後の対応を確認願います。



8. その他

使用後のキット等は、ビニール袋に入れ、しっかり口を縛りゴミに出します。